

令和5年度

社会福祉法人長野りんどう会

事業報告

令和6年6月

# 目 次

項 目	ページ
はじめに .....	1
一 法人運営 .....	2
二 各サービス事業の実績	
1 指定生活介護事業(フレッシュとくま) .....	9
2 指定短期入所事業(フレッシュとくま) .....	10
3 指定自立訓練(宿泊型)事業(フレッシュとくま) .....	11
4 指定自立訓練(生活訓練)事業(フレッシュとくま) .....	13
5 指定共同生活援助事業(グループホーム) .....	14
6 指定自立生活援助事業(自立生活支援室) .....	16
7 指定就労継続支援B(Ⅰ)型事業(ワークス上駒) .....	18
8 指定就労継続支援B(Ⅲ)型事業(ゆったりんどう) .....	20
9 指定就労定着支援事業(就労定着支援室) .....	22
10 指定一般相談支援事業(相談室) .....	23
11 指定特定相談支援事業(相談室) .....	24
12 指定居宅介護事業(ヘルパーステーションてくてく) .....	24

## はじめに

### 1 事業の取組及び成果

当期の事業につきましては、前年度まではコロナ感染症により、新規利用者が減少する事業がありましたが、感染がひと段落したことにより、自立訓練（宿泊）事業及び就労継続支援事業（ゆったりんどう）などで利用者が増加しました。

給付費収入においては、利用者の増と特別加算の対象となる医療観察制度による利用者を引き受けたことで、大幅な増収となりました。一方、費用の面では、人件費では役員報酬、職員給料等が増額となりました。事業費ではこまぎわハウス開設による初度調弁の減、水道光熱費の減などにより減額となりました。

当期の業績につきましては、自立支援給付費収益は1億8,791万円となり前期に比べ1,686万円（9.9%）増加しました。当期活動増減差額は2,025万円となり前期に比べ1,460万円（358.6%）増加となりました。

#### 主な事業の状況

### 2 主な事業の取り組み内容

#### (1) 生活介護事業（定員17人）

健康維持の支援、送迎サービスの実施により利用者確保に努めた結果、減少していた利用者が増加しました。今後の課題として、利用者の高齢化などにより、フレッシュ4階での事業場所の検討が必要になっています。

#### (2) 自立訓練（宿泊）事業（定員17人）

本年度は、医療観察制度等による利用者2名を受け入れたことから、多額の加算額があり収入の増加に寄与しました。利用者は、減少傾向でしたがコロナ前の水準に戻ってきています。

#### (3) 就労継続支援B型事業「ゆったりんどう」（定員14人）

前年度開始したゆったりんどうは利用希望者が増えたことから、7月から定員を増やしましたが順調に利用者が増えています。今後の課題として、仕事量の確保と作業場の確保が必要になっています。

#### (4) 就労継続支援B型事業「ワークス上駒」（定員34人）

ゆったりんどうを希望する利用者について、事業所間の異動を行った結果、利用者数は若干減少しました。就業先について、新規企業との契約に努め工賃アップを図ることができました。

#### (5) 共同生活援助事業（グループホーム）（定員26人）

新こまぎわハウスの開設により利用者が増加しました。また、医療観察制度等による利用者を1人受け入れたことにより収入の増加となりました。

### 3 新年度の取組

障害福祉サービス等報酬の改定により、新年度から1.12%アップとなります。

新年度の業績予想は、利用者数はおおむね前年度並みの見込みであり、自立支援給付費収益は、処遇改善加算もあり前年度を上回ると見込んでいます。

事業費については、人件費が処遇改善等により増額となります。

活動増減差額では大きく減と見込みではありません。

## 一 法人運営

### 1 会議等の開催状況

#### (1) 評議員会(2回開催)

R5. 定時 R5. 6. 26 令和4年度決算及び事業報告、定款の一部変更、第13期役員を選任、評議員の選任、評議員選任・解任委員の選任、第三者委員の選任

R6. 3月 R6. 3. 25 令和5年度予算の補正、定款の一部改訂、基本財産の処分、役員等報酬規程の改訂、令和6年度事業計画及び資金収支予算、第4次3カ年計画、業務継続計画（BCP）、職員の異動、評議員選任・解任委員

#### (2) 理事会(4回開催)

第98回 R5. 6. 7 令和4年度事業報告及び決算、定款の一部変更、管理運営規程の改訂、第13期役員を選任、評議員候補者の推薦、評議員選任・解任委員会の招集、評議員選任・解任委員の選任、第三者委員の選任、令和5年度定時評議員会の招集

第99回 R5. 6. 26 理事長の選定、副理事長及び常務理事の選定

第100回 R5. 10. 25 管理運営規程の改訂、給与規程の改訂、理事長及び常務理事の職務執行状況報告

第101回 R6. 3. 13 令和5年度予算の補正、定款の一部改訂、基本財産の処分、役員等報酬規程の改訂、給与規程の改訂、第4次3カ年計画、令和6年度事業計画及び資金収支予算、重要な職員を選任及び解任、評議員選任・解任委員、令和6年3月評議員会の招集、理事長及び常務理事の職務執行状況報告、業務継続計画（BCP）

#### (3) 監査

監事は、理事会並びに評議員会に出席し、理事の職務の執行状況を監査した。また、決算等の監査結果を報告した。

R5. 5. 23 令和4年度事業及び会計処理全般の監査実施

#### (4) 施設運営会議

- ・開催回数 46回（毎週水曜日午後定例開催）
- ・構成員 正副理事長、常務理事、施設長（管理者）、事務長

### 2 法人運営事務

#### (1) 規程等の制定、改訂

- ・定款の一部改訂  
第98回理事会 令和5年6月評議員会  
第101回理事会 令和6年3月評議員会

- ・管理運営規程の改訂 第 98 回理事会 第 100 回理事会
- ・給与規程の改訂 第 100 回理事会 第 101 回理事会
- ・役員等報酬規程の改訂 第 101 回理事会

(2) 役員等の研修状況 (主なもの)

- ・苦情対応システム研修会 県福祉サービス運営適正化委員会 (10/26) 2 人
- ・全国経営協 監事専門講座 オンライン 1 人

(3) 登記関係

- ・資産総額変更 (R5. 7. 6 登記申請)
- ・役員 (理事長) 変更 (R5. 7. 6 登記申請)

(4) 協定・賃貸借契約等関係 (主なもの)

- ・長野市有財産賃貸借契約 ワークス西駐車場分 (契約期間 3 年) 更新  
契約日 H28. 4. 1 (面積変更 R2. 12. 1) 当年度分 674, 510 円
- ・駐車場賃貸借契約 第 2 駐車場分 (自動更新) 4 台+プレハブ敷地 (2 台)  
契約日 H26. 4. 1 契約変更 H28. 6. 1 (一部返還)  
追加契約 2 台 R4. 6. 1~  
追加契約 1 台 R6. 2. 1~ 追加後 月 27, 000 円
- ・「いなだの家」建物賃貸借契約 (20 年契約)  
契約日 H16. 4. 14 月 130, 000 円  
契約日 R6. 3. 31 (自動更新) 月 130, 000 円
- ・「のくとまーる」当初の建物賃貸借契約 (自動更新)  
契約日 H24. 3. 26 月 150, 000 円
- ・「のくとまーる」の定員増分及び 207 号 (物置) の建物賃貸借契約 (自動更新)  
契約日 H24. 9. 25 月 140, 000 円
- ・「いなだの家サテライト」レジデンス KURASAWA306 号 (石渡) (契約期間 2 年)  
契約日 R2. 9. 1 R5. 9. 24 契約終了 月 30, 000 円
- ・職員勤怠管理システム関連 (フレッシュ本部・ワークス上駒・スローステップ)  
クロノクラウド等サービス 契約先 (株)ミロク情報サービス  
契約日 R2. 9. 9 (R5. 3~SS追加) 月 17, 545 円  
タイムレコーダー 月 12, 100 円
- ・自動販売機設置協定 (本部・ワークス上駒に各 1 台設置)  
協定日 R3. 3. 5 協定先 ダイドードリンク(株)  
販売手数料=1 月の総売り上げの 18%
- ・カラオケ機材賃借料 (フレッシュとくま) 月 21, 770 円・・・第一興商
- ・スマートエコシステムリース料 (本部建物・ワークス上駒) 月 13, 413 円  
・・・オリックス
- ・福祉大臣ソフト保守料 (2023. 3. 1~2024. 2. 29) 年 132, 000 円・・・リコージャパン
- ・ワイズマン給付費ソフトリース料 月 51, 920 円・・・リコージャパン

- ・自動車リース契約 ……カーソリューションズ(株)  
R3.9/17～ 60か月 日産セレナ フレッシュとくま等送迎用…新車リース 月 51,150 円
- ・自動車リース契約 ……八十二オートリース(株)  
R4.1/28～ 60か月 タント グループホーム ……新車リース 月 27,830 円  
R4.1/28～ 60か月 タント 相談室(特定相談) ……新車リース 月 27,830 円  
R4.2/1～ 36か月 ライフ フレッシュ(宿泊) ……リースバック 月 10,120 円  
R4.2/1～ 35か月 ヴィッツ フレッシュ(宿泊) ……リースバック 月 13,970 円  
R4.2/1～ 72か月 ハイゼットカーゴ ワークス(継続B) ……新車リース 月 24,420 円  
R4.2/1～ 41か月 サクシード ワークス(継続B) ……リースバック 月 19,140 円  
R4.2/1～ 51か月 アルト ワークス(継続B) ……リースバック 月 11,220 円  
R4.2/1～ 49か月 アルト てくてく(居宅) ……リースバック 月 11,440 円

(5) 業務委託等の契約

- ・廃棄物処理委託定期(宝資源開発(株)) H24.6.11(契約)  
H31.2.1(覚書)  
R4.4.1(改訂) 基本 月 15,147 円
- ・清掃業務委託(フレッシュ個室エアコンクリーニング)(株)サニクリーン甲信越)  
3台 8月実施 44,000 円
- ・清掃業務委託(本部建物)……直富商事 10月実施 350,900 円
- ・小型エレベーターメンテナンス ワークス上駒(ハナソニックホームエレベーター(株))  
H23.4.1(自動更新) 年 111,100 円
- ・荷物昇降機保守点検 (株)マリフトコーポレーション)H13.2.1(自動更新) 年 61,600 円
- ・自動ドア保守管理業務委託 (本部・ワークス上駒)  
(株)長野ナゴコ) H30.6.1(自動更新) 年 158,400 円
- ・受水槽清掃保守点検 (株)三京) H25.9.1(自動更新) 年 33,000 円
- ・警備委託 夜間防災支援体制 (新日本警備保障(株))  
フレッシュとくま(本館) H26.2.10(契約期間5年間) 月 9,900 円  
こまざわハウス,いなだの家 H26.2.15(契約期間5年間) 月 15,070 円  
のくとまーる H26.2.10(契約期間5年間) 月 10,780 円
- ・消防用設備保守点検  
スローステップ分(ホーチキ(株)) H23.4.1(自動更新) 年 48,400 円  
本館分 (ホーチキ(株)) H28.4.1(自動更新) 年 256,674 円  
ワークス上駒分(株)ナショナル防災) H23.4.1(自動更新) 年 49,500 円  
こまざわハウス(新日本警備保障(株)) H26.3.1(自動更新) 年 22,836 円  
いなだの家(新日本警備保障(株)) H26.3.1(自動更新) 年 37,708 円  
のくとまーる(城東電機) 年 44,000 円
- ・ホームページホスティングサービス (株)いとう R4.2.1～ 月 3,300 円
- ・ホームページドメイン管理料 (株)いとう 年 7,700 円

- ・コピー機保守 本部 (株蔦友)  
H29.9.14 (5年間) 白黒1枚2.1円、カラー14円
- ・コピー機保守 ワークス上駒 (株蔦友) H25.11.15(5年間)  
1セット 45,100円/5千枚
- ・コピー機保守 スローステップ (株蔦友)  
R4.4.22 (5年間) 白黒1枚2.8円
- ・税理士会計指導料 (長野東会計・小林税理士) 月 41,800円
- ・健康診断委託 (財全日本労働福祉協会) H13.1.17 (自動更新)  
(R5年度実績) 33人 276,440円

### 3 施設及び設備整備について(新規)

#### (1) 固定資産購入等

(取得)

(構築物)

- ・スローステップ 土留、フェンス 取得年月日 R6.3.28 取得価格 6,560,700円

(器具備品)

- |                   |    |         |          |
|-------------------|----|---------|----------|
| ・パソコン (フレッシュ事務)   | 1台 | R5.5.31 | 156,750円 |
| ・パソコン (本部理事長)     | 1台 | R5.6.9  | 136,800円 |
| ・パソコン (本部事務長)     | 1台 | R5.6.16 | 145,600円 |
| ・公衆電話 (GHこまざわハウス) | 1台 | R5.6.16 | 146,080円 |
| ・パソコン (居宅介護事務)    | 1台 | R5.8.2  | 151,580円 |

### 4 資金の状況について(R6.3.31)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| ・寄附金収入         | 1,074,865円   |
| ・当年度資金収支差額     | 23,870,388円  |
| ・当年度施設整備等資金積立額 | 3,000,000円   |
| ・年度末施設整備等積立金総額 | 0円           |
| ・年度末純資産総額      | 612,363,998円 |
| ・年度末借入金残額      | 10,206,000円  |

### 5 人事管理について

(1) 職員の資質の向上と公正な人事管理を目的とした人事管理システムにより次のとおり実施した。

ア 人事考課(業務管理)の実施

- ・前期(4月～9月)業務の自己評価と施設長による評価を行った。

(2) 雇用状況について(R5.4～R6.3)

- ・採用 正職員1人、嘱託職員2人、非常勤職員5人

- ・退職 正職員 3 人、嘱託職員 1 人、非常勤職員 4 人
- ・職転 嘱託職員⇒正職員 1 人、非常勤職員⇒嘱託職員 1 人
- ・R6. 3. 31 在籍職員数（3 月末退職者含む） 43 人  
     正職員 23 人、嘱託職員 4 人、非常勤職員 16 人(内当直職員 5 人)

## 6 職員研修について

職員研修実施要綱（基本計画）に基づき、「令和 5 年度研修計画」を策定して計画的な職員研修を行った。

### （1）内部研修

- ・各事業所内での O J T による研修の実施（新規職員等）（年間）
- ・朝の職員連絡会議で内容報告（毎日）
- ・各事業所単位ミーティングで伝達研修（週 1 回）
- ・月例職員会議での職員周知のための周知伝達等（月 1 回）  
     （公用車管理・保険、BCP（業務継続計画）、コロナ検査キット使用方法、人権啓発、安全運転管理者講習、ヒヤリハット事例、市の集団指導、医療観察制度、虐待（身体拘束等適正化のための指針）防止等を周知伝達した。）

### （2）外部での一般研修受講

- ・受講した研修等の項目と延べ日数 31 項目・73 日
- ・研修等受講者延べ数 50 人
- ・一人当たり平均研修日数 1.46 日
- ・31 項目研修開催地（長野市内 17、長野市以外県内 3、県外 0、オンライン 11）

## 7 施設及び事業経営について

### （1）施設等の経営状況

- |  |          |        |
|--|----------|--------|
| ① 指定生活介護事業（フレッシュとくま） 定員 17 人                 | 日平均利用者数  | 17.3 人 |
| ② 指定短期入所事業（フレッシュとくま） 定員 3 人                  | 日平均利用者数  | 0.7 人  |
| ③ 指定自立訓練（宿泊型）事業（フレッシュとくま） 定員 17 人            | 日平均利用者数  | 8.9 人  |
| ④ 指定自立訓練（生活訓練）事業（フレッシュとくま） 定員 6 人            | 日平均利用者数  | 5.8 人  |
| ⑤ 指定共同生活援助事業（グループホーム） 定員 27 人（R5.9～ 定員 26 人） | 日平均利用者数  | 20.3 人 |
| ⑥ 指定自立生活援助事業（自立生活支援室） 定員 なし                  | 月平均登録実人数 | 3.2 人  |



- ⑦ 指定就労継続支援 B ( I ) 型事業 (ワークス上駒) 定員 34 人  
日平均利用者数 28.3 人
- ⑧ 指定就労継続支援 B ( III ) 型事業 (ゆったりんどう) 定員 10 人 (R5.7~定員 14 人)  
日平均利用者数 13.7 人
- ⑨ 指定就労定着支援事業 (就労定着支援室) 定員 なし  
月平均登録実人数 1.4 人
- ⑩ 指定一般相談支援事業 (相談室) 地域移行支援利用延べ月数 2 月  
地域定着支援利用延べ月数 74 月
- ⑪ 指定特定相談支援事業 (相談室) サービス等利用支援 234 件  
継続サービス等利用支援 453 件
- ⑫ 指定居宅介護・重度訪問介護事業 (ヘルパーステーションてくてく) 定員 なし  
月平均登録実人数 24.3 人

(2) 事故等の状況

- ・利用者の保険請求分 実績 なし

(3) 苦情解決状況 (第三者委員・ヒヤリハット事例報告)

苦情受付日	苦情内容	解決経過
10/30~12/7 電話 4 回 対面 1 回	利用者より第三者委員に、スタッフが感情的、一方的にならず、受け止めてほしい。 施設内でトラブルを起こすから退所させようとしている。面接で突如、即刻退所を告げられた。利用者を大事に扱ってほしい。できないのであれば、担当を替えてほしい。	退所については、本人の意向もその都度確認しながら、進めているが、左記のような受け止めになる支援をしてしまったことについては反省し、改善をする。 担当替えについては、改善に努めたことから変更なしで終結した。
12/5~12/26 メール 1 回 対面 1 回	利用者より第三者委員に、風呂場で排泄をしてしまう利用者がいる。気持ちよく入浴できるようにしてほしい。また、困っている方に我慢を強いたり、生活の場を変えろというのは不当ではないかという訴え。	排泄物については、入浴のたび職員が確認したが汚物はないため、安心して入浴してほしい。また、利用者の意思に反して退所を強制することはない。職員の対応が不適切であった。反省し今後の支援に当たることを伝えた。自分が悪いのではないことが分かったことで終結した。

(4) 防災・安全対策

- ・地震台風等災害のための消火・避難訓練  
フレッシュとくま 12 回、ワークス上駒 2 回、 スローステップ 2 回、  
グループホーム (いなだの家・こまざわハウス・のくとまーる 各 2 回)
- ・消火設備等の点検 2 回実施 (専門業者に委託)
- ・感染症対策  
新型コロナ等、感染症対策として、換気、利用者及び職員等の検温記録、3 密回

避、マスク、手洗い、消毒等の徹底、施設内の感染防止として非接触型手指消毒機等活用した。

また、県から配付の新型コロナ抗原検査キットを活用し、利用者の入所時確認、職員の自覚症状時等に使用し、コロナ感染予防を行った。

## 8 第3次3ヵ年計画の進捗状況について

### (第3章 計画の内容)

#### (1) 新たなグループホームの開所について

新たな「こまざわハウス」の開所により、快適な住居での支援を令和5年4月から開始した。

#### (2) 利用者家族の高齢化社会的孤立防止について

利用者家族の高齢化、社会的孤立防止のための保証人問題、身上監護については世間の支援状況の変化もあり、成年後見制度の動向も見据えながら法人としてどんな取り組みが相応しいのか、各関係機関からの情報収集に努め、今できる支援を継続している。

#### (3) 生産活動の実施に当たり地域や地域住民との協働の取り組みについて

- ・地元中学校の職場体験の受入れや、地域の行事の会場として施設を貸出し、利用者も参加した。
- ・ホームページやインスタグラムにより地域との協働の状況を発信した。
- ・生産活動で連携している企業、商店をホームページで紹介し、連携強化を図った。

#### (4) その他

- ・事業継続計画（BCP）の感染症マニュアルの作成に引き続き、自然災害発生時の事業継続計画（BCP）を作成した。

## 9 その他

- ・会報誌（No66～No67）の発行
- ・年報（令和4年度版）の発行
- ・地域、行政、関係団体、地元組織等との連携協力を努めた。（コロナの影響により減少）
- ・長野市障害者自立支援協議会（長野市障害ふくしネット）への参加協力をした。
- ・視察や見学・学生実習・職員研修生等を受け入れた。（コロナの影響により減少）

長野県高齢者生活協同組合4名、高崎福祉医療カレッジ 実習生1名

その他、長野看護専門学校・須坂看護専門学校・清泉女学院大学看護学部より複数名の実習生を受け入れた。

## 二 各サービス事業の実績

### 1 指定生活介護事業（定員17人）（フレッシュとくま）

令和5年度は、利用者に安定した活動を提供し、体調を崩さず安定して継続利用ができるよう支援した。

1日平均利用者数は17.3人で、ほぼ定員に近い利用者数であった。給付費収入は25,933千円で前年度比べて936千円増となった。

#### （1）主な取り組み

- ・利用者が見通し立てやすいように安定した日中活動を提供した。
- ・利用者が楽しく思えるような活動を検討し、取り入れた。
- ・軽作業を行い、活動にメリハリをつけた。
- ・精神的不調だけではなく内科的不調も早期に発見できるよう、利用者への健康観察を毎日重点的に行った。
- ・希望する利用者には、入浴や洗濯の支援を行った。
- ・利用者のニーズに合った余暇支援（外食や外出等）を取り入れた。

#### （2）実 績

##### ア 年度比較

（人）

年 度	延利用者数	1日平均利用者数	延契約者数	解約者数
令和4年度	4,012	16.6	45	7
令和5年度	4,205	17,3	40	3
比 較	193	0.7	△5	△4

##### イ 月別利用実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開 所 日 数	20	20	22	20	21	20	21	20	21	19	19	20	244日
延 利 用 者 数	336	361	375	361	335	341	353	348	380	341	324	350	4,205人
実利用者数/月	38	38	38	37	37	37	37	36	37	37	37	37	37.1人
平均利用者数/日	16.8	17.2	17.1	18.1	16.0	17.1	16.9	17.4	18.1	18.0	17.1	17.5	17.3人

#### 課題と今後の取り組み

- ・活動場所が4階である。利用者を見ても階段がある事やフロアの大きさなどが実情に合わない。場所の検討が必要。
- ・継続利用者が多数のため高齢化が止まらない。高齢者対応の支援が求められる。
- ・引き続き利用者の毎日の健康観察を重視する。

資 料 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

年代別数 (人)

性別 数	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代以上
男 23	0	0	2	12	9
女 14	0	1	1	3	9
計 37	0	1	3	15	18

障害支援区分別数 (人)

性別 数	区分 2	区分 3	区分 4
男 23	13	8	2
女 14	9	4	1
計 37	22	12	3

市町村別 (人)

長野市	山ノ内町
36	1

## 2 指定短期入所事業 (定員 3 人) (フレッシュとくま)

宿泊型訓練の体験利用だけでなく、レスパイト目的の利用者や定期利用者も受け入れした。

1 日平均利用者数は 0.7 人だった。給付費収入は 1,244 千円で前年度に比べて 179 千円減であった。

### (1) 主な取り組み

- ア ささまざまな利用目的に対応し受入れをした。
- イ 家族、ケアプランナー、病院のケースワーカーと連携をした。
- ウ 病院からの地域移行の体験利用で受入れをした。

### (2) 実績

ア 年度比較 (人)

年 度	延利用者数	1 日平均利用者数	実利用者数
令和 4 年度	271	0.8	22
令和 5 年度	285	0.7	24
比 較	14	△0.1	2

## イ 月別利用実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366日
延利用者数	35	36	14	18	22	12	19	21	25	25	28	30	285人
平均利用者数/日	1.1	1.1	0.4	0.5	0.7	0.4	0.6	0.7	0.8	0.8	0.9	0.9	0.7人

### 課題と今後の取り組み

- ・定期利用者の利用目的によっては入所に繋がるよう働きかける。
- ・緊急対応を求められることも多いが、行政等関係機関と連携を密にして対応したい。

## 3 指定自立訓練（宿泊型）事業（定員17人）（フレッシュとくま）

令和5年度は、年度当初は7人の入所者であったが、徐々に増えてきた。医療観察法対象者や更生保護施設からの利用希望者を受け入れた。感染症予防にも引き継ぎ取り組み、食卓のパーティションの設置や毎日2回の検温を継続した。2人がライフサポートりんどうのグループホームに転居した。2人とも2年間の利用期間を全うした。別法人へのグループホームへ1人、単身アパートへ1人転居した。

1日平均利用者数は8.9人前年度とほぼ同じであった。給付費収入は21,492千円で前年に比べ、1,879千円増となった。

### （1）主な取り組み

#### ア 個別支援計画に基づいて質の高い支援

- ・3ヶ月ごとの振り返りを行い、要望等を聞き取りニーズに反映した。

#### イ 利用者の確保

- ・年間を通して医療機関、行政等との情報交換や協力をお願いした。

#### ウ 安全で衛生的な環境への配慮

- ・新型コロナウイルス感染予防の徹底のため、継続して食事用テーブルにパーティションを設けた。
- ・毎日2回の検温を実施した。
- ・マスク着用の徹底をした。
- ・防災設備の定期的な点検、維持を行った。
- ・防災訓練を毎月実施した。

・生活の場にふさわしい快適な環境を提供した。

(2) 実績

ア 年度比較

(人)

	延利用者数	1日平均利用者数	延契約者数	解約者数
令和4年度	3,211	8.8	14	7
令和5年度	3,272	8.9	15	4
比較	61	0.1	1	△3

イ 月別利用実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366日
延利用者数	194	270	209	212	245	266	305	325	302	295	315	334	3,272人
契約者数/月	8	9	8	8	9	9	10	12	10	10	11	11	8.9人
平均利用者数/日	6.4	8.7	6.9	6.8	7.9	8.8	9.8	10.8	9.7	9.5	10.8	10.7	8.9人

課題と今後の取り組み

医療観察法の対象者や更生保護施設からの入所者が増え、それに伴い給付費も増加したが、手厚い支援も必要になる。今後、このような対象者からの入所希望には、対象行為の原因など慎重に検討し、施設として受け入れられるかを判断していく必要がある。

資料 (令和6年3月31日現在)

年代別数

(人)

性別 数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
男 9	1	2	2	2	1	1
女 3	0	0	1	2	0	0
計 12	1	2	3	4	1	1

障害支援区分別数

(人)

区分1	区分2	区分3	区分4	不明
1	4	1	1	4

市町村別

(人)

長野市	千曲市	中野市	木島平村	飯綱町	飯山市	山ノ内町
4	2	1	1	1	1	1

#### 4 指定自立訓練（生活訓練）事業（定員10人 令和5年7月より6人に変更） （フレッシュとくま）

宿泊型訓練を利用している利用者を中心に、生活リズムの確立や将来の生活スキル向上、身近な社会資源の体験利用できるよう支援した。2年の満期の前に就労事業所との併用利用者が多くなり、利用者数減に伴い年度途中で定員変更をした。延べ契約者数が15人と昨年度より5人増加した。

平均利用者数は減少したが、社会生活支援特別加算がつく利用者支援で給付費収入は14,369千円と昨年度より594千円増となった。

##### （1）主な取り組み

- ・その人らしい生活ができるよう、自主性・自発性を尊重した。
- ・個別支援計画に基づき個人の目標がぶれないよう、今やるべきこと、目指すべきことを確認しながら支援をした。
- ・今後の生活に必要なスキルが身に着くよう支援した。

##### （2）実績

###### ア 年度比較

（人）

年 度	延利用者数	1日平均利用者数	延契約者数	解約者数	新規契約者数
令和4年度	1,409	5.9	12	5	5
令和5年度	1,391	5.8	15	5	8
比 較	△18	△0.1	3	0	3

###### イ 月別利用実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	20	20	22	20	19	20	21	20	20	19	19	20	240日
延利用者数	85	103	98	105	122	133	137	139	119	105	126	119	1,391人
実利用者数/月	5	7	8	8	9	10	10	11	11	10	11	9	9.0人
平均利用者数/日	4.3	5.2	4.5	5.3	6.4	6.7	6.5	7.0	6.0	5.5	6.6	6.0	5.8人

##### 課題と今後の取り組み

利用者個々の社会生活スキルや利用者が目指す生活に巾があるため、共通の支援プログラムで個々のスキルを上げ、評価するのは難しい。今後は、社会生活の自立度評価指標（SIM）等利用し、的確な評価と具体的支援につなげられるようにしていく。

資料（令和6年3月31日現在）

年代別数 (人)

性別 数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
男 8	1	2	3	2	0
女 2	0	0	0	1	1
計 10	1	2	3	3	1

障害福祉サービス支給市町村 (人)

性別 数	長野市	千曲市	飯山市	飯綱町	中野市	木島平村
男 8	4	1	1	1	0	1
女 2	2	0	0	0	0	0
計 10	6	1	1	1	0	1

## 5 指定共同生活援助事業（定員27人 令和5年9月より26人に変更）

（グループホーム）

令和5年度はグループホームごとの特色を出し運営に当たった。

令和5年4月より新たに「こまざわハウス」（10名定員）を開設した。こまざわハウスでは食事提供をし、居室の掃除、洗濯、金銭相談、手続き等利用者で行いより手厚い支援をした。また、必要な利用者に対しては同行受診を行った。

「いなだの家」では食事提供し、利用者ができることをより増やせるようにグループホーム内の掃除、夕食の片づけ等の当番活動の実施をした。地域に馴染み生活できるようにグループホームの周りの草取り、地区のゴミ当番の実施、地区清掃へ参加した。

「のくとまーる」では、1週間に1回～2週間に1回、居室訪問し生活の様子（食事、掃除、金銭の状況、薬、体調等）の確認をした。一人暮らしを希望した利用者に対しては公営住宅の申し込みやアパートの物件を一緒に探した。一人暮らしに必要な助言等をして一人暮らしができるよう支援を行った。1名を一人暮らしにつなげることができた。

サテライト型グループホーム利用者1名が一人暮らしに移行したため定員は27人から26人へ変更（令和5年10月～）。サテライト型グループホーム利用希望者がいない事とサテライト型グループホームになる物件が見つからなかったため閉鎖した。

1日平均利用者数は20.3人で前年度に比べ2.6人増となった。給付費収入は31,647千円で前年度に比べて5,291千円増となった。



(1) 主な取り組み

ア 日常生活について

- ・調理、掃除、買い物、金銭管理、服薬確認等を補助した。
- ・家族、日中活動先等の連絡調整を行った。
- ・対人関係、日常生活の不安や課題へ相談支援を行った。

イ 地区交流事業について

- ・地区の清掃事業に参加（河川・側溝・公園・神社等）。

ウ 日常支援について

- ・日中世話人が住居を巡回して在宅の利用者の支援を行った。

(2) 実績

ア 年度比較表

(人)

	延べ利用者数	1日平均	延べ契約者	新規利用者数	解約者数
令和4年度	6,818	17.7	19	6	3
令和5年度	7,395	20.3	22	5	5
比較	577	2.6	3	△1	2

イ 月別利用実績表

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延利用者数	585	599	630	595	583	596	620	622	652	654	615	644	7,395
実利用者数/月	20	21	23	21	21	23	20	21	22	22	23	22	259
体験利用者数	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	3
平均利用者数/日	19.4	19.3	21.0	19.1	18.8	19.9	20.0	20.7	21.7	21.0	21.2	20.8	20.2

課題と今後の取り組み

- ・入居者一人ひとりの生活力（IADL）に差があり画一的な支援では足りず、今後も個別の対応を求められる。
- ・高齢な利用者に対しては本人や家族と相談しながら地域包括支援センターと連携しながら介護保険サービスの導入を検討していく。
- ・一人暮らし生活を希望する利用者に対しては一人暮らし生活ができるように助言、支援を引き続き行う。
- ・日中活動先に体調不良等で欠席した利用者に対して日中支援していく。
- ・今後も新規利用者を積極的に受け入れていく。

資料（令和6年3月31日現在）

年代別数 (人)

性別 数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
男 14	1	2	4	3	4
女 8	1	0	5	2	0
計 22	2	2	9	5	4

障害支援区分別数 (人)

施設	区分1	区分2	区分3	全体
こまざわハウス	0	4	5	9
いなだの家	1	2	1	4
のくとまーる	2	6	1	9
合計	3	12	7	22

市町村別 (人)

長野市	千曲市	須坂市	佐久市	麻績村	小川村	信濃町
14	3	1	1	1	1	1

## 6 指定自立生活援助事業（定員なし）（自立生活支援室）

今年度は6人に対して定期訪問し日常生活の見守りや金銭管理等、安定した一人暮らしの定着に向け支援を実施した。必要な時には同行をして支援した。金銭管理は社協の日常生活自立支援事業に繋げ、移行した。また、生活面については居宅介護事業等必要なサービスを導入し地域での生活を継続できるように支援した。スムーズに日常生活自立支援事業や居宅介護に繋げることができ、延長する利用者が少なかったため利用人数、利用実数も減少した。1日平均利用人数は0.7人で前年度に比べ0.2人減となった。給付費収入は764千円で前年度に比べて223千円減となった。

### （1）主な取り組み

#### ア 状況確認について

- ・定期的な訪問・面接等により本人の生活状況を把握した。
- ・必要に応じ銀行や医療機関等へ同行し手続等を一緒に行った。

イ 相談について

- ・訪問及び面接時に困っていることや不安に思っていること等の相談を受け、解決に向けて一緒に取り組んだ。
- ・利用終了時を考え必要なサービスの情報提供や利用に向けての支援をした。
- ・手続き（公共料金の引き落とし・市役所での住所変更等）に同行し支援した。

ウ 関係機関との連絡調整

- ・相談支援専門員はじめ、日中の利用施設など関係機関との連絡調整を行った。
- ・課題等の解決に向けての話し合いを開いた。

(2) 実績

ア 年度比較

(人)

年 度	延契約者数	新規利用者数	延長者数	解約者数
令和4年度	8	3	2	5
令和5年度	6	3	0	3
比 較	△2	0	△2	△2

イ 月別利用実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均/合計
開 所 日 数	20	20	22	20	20	20	21	20	20	19	19	20	241日
延 支 援 回 数	11	14	18	22	21	9	8	8	13	14	19	16	173回
登録実人数/月	3	3	4	5	5	2	2	2	3	3	3	3	3.2人

課題と今後の取組

- ・一人暮らし等新しい生活に慣れ、地域に馴染めるように重点的に支援をしていく。
- ・金銭管理の面で支援が必要な方に対しては早い段階で社会福祉協議会の日常生活自立支援事業利用の導入を図る。
- ・グループホーム退所後や宿泊型自立訓練の退所後、病院から退院した利用者に対して今後も支援し、利用者確保に努める。

資 料 (令和6年3月31日現在)

年代別

(人)

30代	40代	50代	60代	70代
1	0	4	0	1

障害認定区分 (人)

なし	区分 2
1	5

市町村 すべて長野市

## 7 指定就労継続支援B (I) 型事業 (定員 34人) (ワークス上駒)

屋内作業の受注は徐々に増えてきており新たに新規の箱折り業者と契約をした為、屋内作業の収入は増えた。

屋外作業に関しては清掃業務、除草作業で安定した収入を得ることが出来た。今年度の平均工賃は算出方法も変わったこともあり 28,618 円。前年度に比べ 5,367 円増加した。

現在いる利用者の時間数、日数を面談や会議の中で増やすよう働きかけをした。結果 1 日の平均利用者人数は 28.3 人と前年度に比べ 0.1 人増加している。

給付費収入は 49,906 千円と前年度に比べて 257 千円増となった。

### (1) 主な取り組み

- ・新規企業との契約。
- ・現状の利用者の日数と時間を増やした。
- ・ハローワークへの登録や求人情報の提示、就労継続支援A型への移行などの就労支援。
- ・パンフレットを作り直し関係機関に配った。

### (2) 実績

#### ア 年度比較

(人)

年 度	延利用者数	1日平均利用者数	延契約者数	新規契約者数	解約者数
令和4年度	6,828	28.1	41	0	4
令和5年度	6,792	28.3	36	6	9
比 較	△36	0.2	△5	6	5

#### イ 月別利用実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	20	20	22	20	19	20	21	20	20	19	19	20	240日
延利用者数	571	566	616	573	515	579	620	559	575	529	530	559	6,792人
実利用者数/月	39	39	40	37	37	37	37	37	38	38	38	37	48.0人
平均利用者数/日	28.6	28.3	28.0	28.7	27.2	29.0	29.6	28.0	28.8	27.9	27.9	27.5	28.3人

課題と今後の取り組み

新規での利用者の確保が出来ていない現状があるため今後は新規の利用者を獲得するため養護学校の実習生や各機関へのパンフレット配布等の活動をしていく。作業に関しては清掃作業、植栽管理の範囲、回数が減ったことで収入減が見込まれる為、新規の開拓、拡大を図っていく。

資 料（令和6年3月31日現在）

年代別数

(人)

性別 数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
男 26	0	4	3	7	8	4
女 10	0	2	0	0	4	4
計 36	0	6	3	7	12	8

月別工賃支給状況

(小数点以下切り捨て)

月	支給人員 (人)	工賃支給金額 (円)	
		月平均額	月最高額
4	39	14,397	43,480
5	38	14,360	40,520
6	38	15,231	45,260
7・賞与	38	36,532	94,340
8	37	12,633	38,000
9	37	14,763	35,960
10	37	15,458	42,950
11・賞与	37	45,447	130,413
12	38	13,415	37,510
1	37	11,985	39,380
2	38	12,575	42,400
3・賞与	38	51,247	166,182
平均月額		(R5年度) 28,618円	(R4年度) 23,271円

## 8 指定就労継続支援B（Ⅲ）型事業（定員10人 令和5年7月より14人に変更） （ゆったりんどう）

開設2年目となり、それぞれの利用者に合わせた作業提供や集中できる作業環境作りなどに取り組んだ。

また、作業の少ない時期には、外出プログラムや数人ずつでの昼食の外出など作業以外の活動も行った。

事業所への送迎があることで、利用希望者が増えており、毎日2台の車で迎え、昼に午前中のみの利用者を送り、午後にも1日利用の利用者を送迎した。

その結果1日平均利用者数は13.7人で前年度に比べ3.9人増となった。

給付費収入は24,744千円で前年度に比べ9,430千円増となった。

### （1）主な取り組み

- ・利用者の多様なニーズに合わせた働く場の提供。
- ・地域と連携した生産活動に取り組む。

### （2）実績

#### ア 年度比較

(人)

年 度	延利用者数	1日平均利用者数	延契約者数	解約者数	新規契約者数
令和4年度	2,345	9.8	28	4	28
令和5年度	3,279	13.7	33	5	9
比 較	934	3.9	5	1	△19

#### イ 月別利用実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開 所 日 数	20	20	22	20	19	20	21	20	20	19	19	20	240日
延 利 用 者 数	243	259	300	291	256	275	310	313	288	244	241	259	3,279人
実利用者数/月	25	26	27	28	28	28	30	29	31	29	28	28	28.0人
平均利用者数/日	12.2	13.0	13.7	14.6	13.5	13.8	14.8	15.7	14.4	12.9	12.7	13.0	13.7人

### 課題と今後の取り組み

令和5年度途中に利用希望者増のため定員変更をした。現在、1日の利用希望者は定員をオーバーしているが、1日の利用者数は体調や季節、天候などに左右され、利用予定になっても欠席が続くこともある。今後の課題として、利用者それぞれの状況や目標に合った利用予定日数を見直ししていく必要がある。

また、利用者が増えてくる中で作業量の確保が難しくなっている。幅広い利用者を受け入れる中で、関わられる作業についても幅広く準備していく必要がある。また、作業工程を工夫しより多くの利用者に関わられるよう検討していく。

資 料（令和6年3月31日現在）

年代別数 (人)

性別 数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
男 15	0	2	3	3	3	3
女 13	0	0	5	5	5	0
計 29	0	2	8	8	8	3

月別工賃支給状況

月	支給人員 (人)	工賃支給金額 (円)	
		月平均額	月最高額
4	25	3,382	5,251
5	26	4,182	5,908
6	27	4,320	5,562
7	28	6,711	8,263
8	28	4,235	6,156
9	28	3,940	6,094
10	31	6,264	7,992
11	31	7,254	8,028
12	32	4,507	5,723
1	33	4,734	6,689
2・賞与	33	3,959	5,797
3	33	6,331	8,444
平均月額		(R5年度) 4,985円	(R4年度) 3,696円

## 9 指定就労定着支援事業（定員なし）（ワークス上駒 就労定着支援室）

令和5年度は2人に対して、就労継続の為の支援を実施した。一人は期間満了のため8月に支援終了となった。企業訪問で利用者や事業所と話し、課題があれば検討し就労継続の支援をした。

### （1）主な取り組み

- ・就労定着支援計画に基づいたサービスの提供。
- ・月1回以上の対面による面接等の実施し仕事上の悩みや生活面での聞き取りのなかで困りごとの確認をした。
- ・月1回以上の企業訪問職場での様子から困っていること等を伝えた。
- ・企業・関係機関・家族等との連絡調整。
- ・職場環境がより働きやすくなるよう心掛けた。

### （2）実績

#### ア 年度比較

（人）

年 度	契約者数	新規利用者数	解約者数
令和4年度	5	0	3
令和5年度	2	0	1
比 較	△3	0	△2

#### イ 月別利用実績

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均・合計
開所日数	20	20	22	20	19	20	21	20	20	19	19	20	240日
延べ支援回数	4	4	5	6	4	2	2	2	2	2	2	2	37回
登録実人数/月	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1.4人

#### 課題と今後の取り組み

就労定着のサービスが終了した後も42か月以上就労が継続している利用者が4人いたため新たに就労定着実績体制加算を付けることが出来た。また、就労継続支援のサービスを継続するための要件を満たせなかったためサービスは令和6年7月末で終了となる。現在利用している利用者は令和6年10月末まで期限があるため、期限までは訪問等の支援は継続していく。



## 10 指定一般相談支援事業（地域移行支援事業・地域定着支援事業）（相談室）

コロナウイルス感染の影響が長引き、地域移行支援は今年度も難しい状況が続いた。病院や関係機関からの依頼は少なかつたため件数は伸びず1件に留まっていた。地域定着支援では1人が退院の見込みが無いことから契約解除となり、新たに1人が契約となった。定期の状況確認が中心で、緊急連絡などはなかった。

### （1）主な取り組み

- ・地域移行支援（地域移行支援計画の作成等、地域生活移行のための相談、外出同行、障害福祉サービスの体験利用、体験的な宿泊支援）
- ・地域定着支援（地域定着支援台帳作成、連絡体制の確保、緊急時の状況把握・対応等）
- ・連携による地域生活支援（関係機関との連携強化）

### （2）実績

#### ア 地域移行支援

年 度	利用実人数	利用延べ月数	継続支援者数
令和4年度	2人	7か月	1人
令和5年度	1人	2か月	1人
比 較	△1	△5	0

#### イ 地域定着支援

年 度	利用実人数	利用延べ月数	緊急時支援
令和4年度	6人	65か月	0回
令和5年度	7人	74か月	0回
比 較	1	9	0

### 課題と今後の取り組み

地域移行支援では、今後もコロナ感染の対応が緩んでくることが考えられるため、退院支援を進める病院も増加していくことが予測される。受け入れ体制についても考慮しながら検討していく。地域定着支援では、利用者の高齢化に向けて検討していく必要がある。

## 1 1 指定特定相談支援事業 (相談室)

令和5年度は、専任2人、兼務5人の相談支援専門員がサービス等利用計画の作成を行った。利用者のニーズにあわせた福祉サービスの支給とより本人の意向に合う事業所の利用に向け調整やサービスの状況の確認を行った。また、相談支援専門員やサービス管理責任者の更新研修などの管理を行った。

### (1) 主な取り組み

- ・生活全般に関わる一般的相談、電話・訪問相談、情報提供、関係者間の連絡調整
- ・サービス等利用計画の作成（サービス利用支援、継続サービス利用支援）
- ・専門性の更なる向上のため研修等に参加

### (2) 実績

サービス等利用計画作成件数

(件)

	サービス利用支援	継続サービス利用支援
令和4年度	230	518
令和5年度	234	453
比較	4	△65

### 課題と今後の取り組み

例年と同じく、福祉サービスを終了していくケースも定期的にあるため、今後も依頼があれば新規計画相談も受入れし、相談件数を維持していく。福祉事業を行なうに当たって、必ず専任での配置基準があるサービス管理責任者と計画相談を行う相談支援専門員資格の更新研修受講を漏れのないよう管理していくことと、職員が各資格研修を計画的に受講して資格取得できるようにしていくことがあげられる。

## 1 2 指定居宅介護・重度訪問介護事業 (定員なし) (ヘルパーステーションてくてく)

利用者の地域生活継続のために必要な身体介護、家事援助、通院等介助を行った。支援回数は、月1回から週2回と支援内容や必要性により違いがあった。新規契約者が9人で実利用者数が30人となり、昨年度より7人増えた。新規利用者のうち2人が一人暮らしになって数年たつが、ごみ片付けや掃除ができなくて利用開始となった。給付費収入は5,674千円で昨年度より1,066千円増となった。

(1) 主な取り組み

- ・安定した地域生活の継続のために利用者へ日常生活及び社会生活の総合的支援
- ・調理・洗濯・掃除・買物・通院介助・その他必要な援助
- ・必要に応じて健康や日常生活上の相談や助言

(2) 実績

ア 年度比較

	実契約者数	延支援時間	新規利用者数	解約者数
令和4年度	23人	750時間	6人	2人
令和5年度	30人	909.5時間	9人	2人
比較	7人	159.5時間	3人	0人

イ 月別利用実績

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均/合計
開所日数	20	20	22	20	19	20	21	20	20	19	19	20	240日
延支援時間	64.0	79.5	72.0	76.5	69.5	78.0	84.0	77.0	66.0	76.5	80.5	86.0	909.5時間
登録実人数/月	21	21	21	24	24	24	23	24	26	28	27	28	24.3人

課題と今後の取り組み

一緒に家事等することで、少しずつ自信をつけて一人でできるようにしていくが、依頼心強くなり、できることも頼られることがある。自主性が出るように声のかけ方が難しい。

専任職員を配置し、複数の支援者が関わられるように体制を整える。一人の支援員に負担がかからないようにする。